

大町病院だより

5月1日
2006
第8号

編集・発行
市立大町総合病院
広報委員会

質の高い看護を提供します



看護部長
高橋 真知子

四月一日、大町病院の看護部長に任命されました高橋真知子です。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成十八年度は診療報酬の改定に伴い、病院には厳しい幕開けとなりました。病院運営の見直しは、看護部門においても積極的な経営参画と看護の質を問われるものとなりました。

前任の太田看護部長の努力で、看護基準や手順の見直しなど、基盤整備はできました。これらを活用し、看護部全体で、質の高い看護を、ご利用して下さる患者さんやご家族の方に、いかに提供できるかが、次に託された私たちの責任です。

確かな看護ケア技術を提供することはもちろんですが、看護師一人一人が真剣に患者さんに向き合うことが大切だと考えています。

人は生きてゆくための自然治癒能力を持っています。またその人が生きてこられた過程の中で、その人なりの行動様式（生き方）を持っておられます。ですから、その人に合った意思決定をする能力も持っているのです。看護というのはその能力に不足が生じたり、限界があるときに専門技術を用いて、それを必要とする人との相互関係の中で、ケアを通して支援していく過程だと考えています。

こうした考えから私は、看護をする上で四つの事柄を大切にしてみました。

- ①患者さんの人権を尊重する。
- ②看護師は主体性を持って責任のある看護を提供する。
- ③自らもやりがいを持つ（楽しむ）。
- ④病气という体験が、患者さんやご家族の方にとってプラスの体験と感ぜられるよう支援をする。

看護は患者さんに合った個別性を問われます。「多様性の中で共に生きる」ということを大切にしたいと思っています。

六月からは、療養病棟が開設されます。高齢化する地域住民の皆さんが、安心して暮らせる市の施設として、ぜひ必要な病床と考えたからです。

なお、医師不足が問題となっている産婦人科には二名の医師と共に、助産師たちが母親支援、育児支援のために活動をしています。大北地域で安心して出産していただく

けるよう、いろいろな情報を発信し、支援していきたいと思っております。

また、多様化するニーズの中で常に地域の中核病院として、地域の方々と共にある病院を目指します。

四月からは、ユニホームも一新し、心新たに、信頼される温かな心の通う看護部を目指して、微力ながら頑張っていきたいと思っております。



総合防災訓練を実施

3月23日、地震災害を想定した、トリアージ訓練、初期消火訓練を含めた院内総合防災訓練を実施しました。

病院理念 私たちは、温かな心の通う医療を提供する病院を目指します

療養病床50床設置

6月から病棟を再編成

病院の入院ベッドは、大きく二種類に分けることができます。一つは、病気やけがなどの患者さんが入る普通のベッドで、制度上は「一般病床」と呼んでいます。

もう一つは、急性期を過ぎた患者さんが、更に医療を受けながら長期に療養したり、自立や在宅療養に向けてリハビリテーションや指導を受けたりするためのベッドです。状態が悪化しないように療養することが中心なので、「療養病床」と言っています。

大町病院には現在、一般病床が二百八十床ありますが、今年六月一日から、このうち

5階西病棟の五十床を「療養病床」に変更することになりました。

療養病床に入院できる患者さんは、別表のような状態の方です。

これまでの経過を見ますと、平成十三年に一般病床を四十床増やして、二百八十床にしました。しかし、増床以降も平均入院患者数は、冬の時期を除いて、一日二百二十

人前後で推移しているため、一般病床は二百三十床あれば、充分だと思われれます。

また、今後しばらくは、医師や看護士の確保が非常に困難なことが予想されますし、入院患者が相対的に増えることにより、赤字続きの病院の経営改善に、少しでも寄与できるとして、一般病床五十床を療養病床に変更するものです。

療養病床は、一般病床に比べて、入院単価が低くなりませんが、医師や看護士の係わりが軽減されることや、この地域では、老人保健施設などへの「入所待ち」状態の人がかなりいること、在宅生活に戻るにも、自宅の改造やベッドの

準備に時間がかかること、さらに、空いている病床の有効活用の面から、総合的に判断しました。

これにより、通年ベースでおよそ一億六千万円の増収が見込まれます。

現在、全国に療養病床が三十八万床あります。このうち医療保険を使って入院する医療型が二十四万床、介護保険を使って入院する介護型は十四万床です。国はこのほど、今後六年かけて、介護型病床を廃止して老人保健施設や特別養護老人ホームへの転換を促進し、医療型病床も十五万床に減らす方針を決めました。

全国で十五万床といいますが、人口一万人あたり二・五床となり、この大町・北安曇地域では、およそ八十床必要ということになります。さらに、都市部と比べて高齢化が進んでいる現状から、これ以上に療養病床が必要と思われるます。

大町・北安曇地域には現在、五十二床の療養病床がありますが、安曇総合病院では、今年六月から、このうち医療型病床三十八床を回復期リハビリテーション病床に機能転換することになりました。この地

域に、療養病床が不足することとは、明らかです。

大町病院の今回の病棟再編成は、病院の現状と地域の将来を見据えての決断です。地域の皆さまには、ご理解をいただきたいと思います。

脳神経外科

週一回に

脳ドックは、一次休止

大町病院では、4月から、脳神経外科の常勤医師がいなくなり、診療体制が、週1日(金曜日)になりました。

これは、医師を派遣している信州大学の脳神経外科の方針によるもので、全県的に医師が不足していることから、拠点病院に医師を集めたことによるものです。松本以北の拠点病院は、安曇野赤十字病院になりました。

医師不在により、入院や手術に影響がでることから、これまで以上に、病院間や消防署救急隊との連携を図り、医療の空白時間を少なくしていきます。また、早急に、医師確保ができるよう関係機関に要請していきます。

常勤の医師がいなくなったことにより、脳ドックは、一次休止としています。

療養型病床について

療養型病床は、「主として長期にわたり療養を必要とする患者を収容する」医療施設と位置付けられており、主な対象は、次のような症状の方です。

- ①合併症を持つ糖尿病患者
(自己注射が可能になるまで)
- ②慢性呼吸器疾患
(酸素量が決まって、その範囲内で日常動作ができる訓練をする期間)
- ③神経難病患者
(例えばパーキンソン病、人工呼吸器を付けたり、吸引が頻回の患者、排泄のコントロールがうまくできない患者)
- ④人工透析を必要とする患者
(寝たきりになり、家と病院の行き来ができなくなった患者)
- ⑤急性期後で、積極的なリハビリが必要な患者
(骨折手術後、車椅子や歩行器を使えるようになった患者、骨粗しょう症で、リハビリが必要な患者など)

■申し込み

5月8日(月)から
医療福祉室で随時受付します。

■問い合わせ

医療福祉室 (内線2194)

職 場 紹 介

チーム医療の一翼担う

薬 剤 科

科長 吉川 豊子

きます。

まず、外来、入院患者さんの調剤は、一回量を分包するなどして、患者さんが指示に従って服用できるように調剤方法にしています。

また、院外処方箋の鑑査のほか、入院患者さんの薬剤服薬管理指導業務として、ベッ トサイドで薬の有効性や安全性を説明し、服用の状況や副作用の有無などを確認して、効果的な薬物療法に努めています。

さらに、病棟薬剤師による昼の配薬もしています。入院患者さん持参薬の鑑別や、外来と病棟医薬品の補充や管理、注射剤は、注射箋に基づき全病棟患者ごとに取り揃え、病棟への搬送もしています。

このほか、栄養サポートチーム(NST)活動に参画するとともに、院内感染対策委員会に抗菌薬の使用状況を報告し、適正使用に取り組んでいます。

医療安全部門では、採用品目の見直し、処方書の書き方の再教育、ハイリスク医薬品の整理など、リスクマネージャーとしての役割を果たしています。

注射薬の調剤は、外来および全病棟の抗がん剤調製



と病棟の中心静脈栄養法による無菌調製を全て実施しています。

今年四月からは、クリーンベンチ(写真)内での注射無菌調製を始めました。このメリットは、安全性と有効性の面で質の高い製剤を提供でき、院内感染防止に役立つとともに、医療過誤防止にもつながります。必要なときに調製を行うので、破棄件数がほとんどなく、経済的効果も大きいと考えます。

このように、病院の薬剤師は、多岐にわたる業務や改善に取り組んでいます。そして、少しでも患者さんに関わって、医薬品の適正使用に役立ちたいと考え、よりよいチーム医療に貢献できるよう、頑張っていますので、どうぞ、気軽にお声かけください。

ちよつと教えて...

-No. 8-



薬の飲み方

について

薬剤科 吉川 豊子

【薬の用法は】

一般に食事時間を基本に考え、代表的な飲み方ですが、薬によっては「その薬が最も効果を発揮できる服用時間」があります。薬を飲む時間の目安は次のようになります。

- 【起床時】...目が覚めてすぐ
- 【食前】...食事の30分くらい前
- 【食直前】...食事の10~15分前
- 【食後】...食事が終わって30分以内
- 【食直後】...食事が終わってすぐ
- 【食間】...食事と次の食事のあいだ
(食事が終わって2時間くらいあとの意味で、決して食事の最中に飲むことではありません)
- 【寝る前】...眠りにつく30分くらい前
- 【朝服】...必要な時のみ

薬の飲む時間は薬の特性や、副作用の予防、また食べ物や他

の薬との飲み合わせなどを考慮して指示されています。勝手に飲む時間を変えてしまうと薬の効果が下がったり、副作用が出てしまったりする場合がありますので、指示通りに飲むようにしてください。もし、指示された時間に飲むのが難しい場合は医師または薬剤師に相談するようにしましょう。

【薬を飲む時は】
多めの水または白湯で飲んでください。コップ1杯程度の量が目安です。ただし、腎臓や心臓の病気などで、飲む水量が制限されている場合は、医師の指示に従ってください。

薬はまず溶けてから体に吸収されるので、少ない水で飲むと薬が溶けにくく、吸収が悪くなってしまうので、十分な量に現れないばかりか、食道にくっついて、そこが刺激され潰瘍ができてしまうことがあります。

例えば、ある種の血圧を下げる薬などをクレープフルーツジュースと一緒に飲むと、薬が効きすぎて血圧が下がり過ぎてしまうことがあります。また牛乳とある種の抗生物質を一緒に飲むと、薬の吸収が悪くなり、せっかく飲んだ薬の効果がなくなる、なんてこともあります。薬を飲むときはコップ1杯程度の水または白湯で飲むようにしましょう。

病院で診療して、院外の調剤薬局で薬をもらう「医薬分業」の推進に伴い、病院薬剤師の業務内容は、昨今、大きく変化して、チーム医療の中で重要な位置を占めるようになりました。

これまで主な業務だった調剤のほかに、薬物治療に関する情報提供や、医師の処方への積極的な参加、服薬指導、薬剤の品質維持、保管管理、患者の安全確保など、調剤業務は広範になってきました。

私たち薬剤科職員は、質の向上と専門化を目指して「幅広い知識を備えた信頼される薬剤師」を基本理念に、日々の業務に励んでいます。

では、現在行っている薬剤科の業務を紹介させていただきます。

新任医師紹介



●内科
中村 勝

昭和三十九年、長野県生まれ。佐賀医科大学卒。趣味はスキーとバイクいじり。晴れた日の北アルプスは最高に綺麗だと思えます。他にこのような景色はありません。またこの豊かな自然環境のために長野県が長寿県であると信じています。しかし、食生活の欧米化と車社会のせいで肥満、高血圧、高脂血症や糖尿病などの生活習慣病が増えているのは残念です。タバコによる肺癌や肺気腫などの病気も減らせれば良いと思います。



●外科
三澤 良輔

大町地域の皆様の健康のために不器用ではありますが、呼吸器内科中心に内科一般で貢献できれば幸いです。よろしくお願ひ致します。4月1日付採用、医長。

大学生の頃から毎年冬になると、白馬に来ていました。学生の頃はモーグラーになりました。と思う、数人の友人とス

キー合宿と称して連泊していたこともありました。しかし、スキーはなかなか上手くなれないまま外科医になってしまいました。医局に入局後は、やっぱり忙しくて、スキーの成長は完全に止まってしまいました。

しかし遂に鹿嶋槍から10分のこの絶好のロケーションを手に入れました。どなたかよろしかったら、スキーをこ教授ください。

診療頑張りますのでよろしくお願ひします。4月1日付採用、医長。



●泌尿器科
三村 裕次

飯田市出身です。信州大学を卒業し、医師になって4年目になります。以前は信州大学に勤務していました。

学生の頃から、松本から見る北アルプスがとても好きでした。この美しい景色が近くで毎日見られるということに喜びを感じています。ただ、雪が多い地域は初めてなので、冬を越すのに少し不安もあります。病院のスタッフや地域の方々にご指導をいただきながら、この大町の地で、少しでも皆様のお役に立てるよ



●内科
西村 仁志

う、日々努力を重ねて参ります。何卒よろしくお願ひします。4月1日付採用、医員。

信州大学、北信総合病院で研修終了し、今年度より大町総合病院で働かせていただくことになりました。千葉県出身のため、あまり寒さには慣れていませんが、大町市は自然豊かでとても素晴らしい環境だと思います。スタッフの皆様も温かい方が多く、とても良い環境で働かせていただいております。まだまだ未熟なため、皆様にご迷惑おかけする事と思

看護師・助産師・保健師を 随時募集しています

※応募時に満45歳未満で資格のある人
※募集要項・申込用紙は事務部庶務課庶務係にあります。ホームページからもダウンロードできます。

入院時に必要な品揃う 自動販売機を2台設置

夜間の入院時に必要な日用品や、衛生材料を用意した自動販売機を、一階外科外来待合付近と三階ラウンジに設置しました。

中には、歯ブラシ、コップ、タオル、寝巻き、三角巾、紙おむつ、スリッパなどのほか、イヤホン、ティッシュ、マスク、冷却シートなどが入っています。

人事異動

【新規採用】
4月1日付
池田 漢子 看護部看護師
梨子田知恵 看護部看護助手
栗林 里美 診療技術部
丸山 敦美 診療技術部
管理栄養師

【異動】
4月1日付
宮脇 哲子 事務部医事課
北沢 好泰 事務部医事課
入院係長

【退職】
3月31日付
黒岩 徹 事務部庶務課
宮武 正樹 診療部
林 元則 脳神経外科長
飯沼 伸佳 診療部内科医長
太田二三子 診療部外科医長
内川みや子 看護部准看護師
奥原美智子 看護部准看護師
山本 一恵 看護部看護師
白石あゆ子 看護部看護師
宮沢ちよ系 診療技術部
栄養師

薄井 郷史 診療技術部
薬剤師
榎崎ヤヨハ 事務部
倉科 里美 医事課長補佐
事務部医事課
入院係長

《編集・発行》

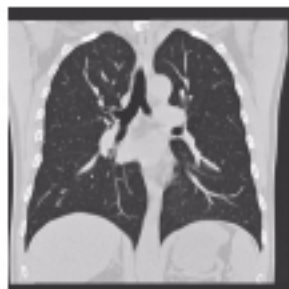
〒398-0002 大町市大町3130
市立大町総合病院 広報委員会
TEL 0261-22-0415
FAX 0261-22-7948
ホームページ

<http://www.city.omachi.nagano.jp/hospital/>

ご意見・ご感想をお寄せください

最新型マルチスライスCTを導入

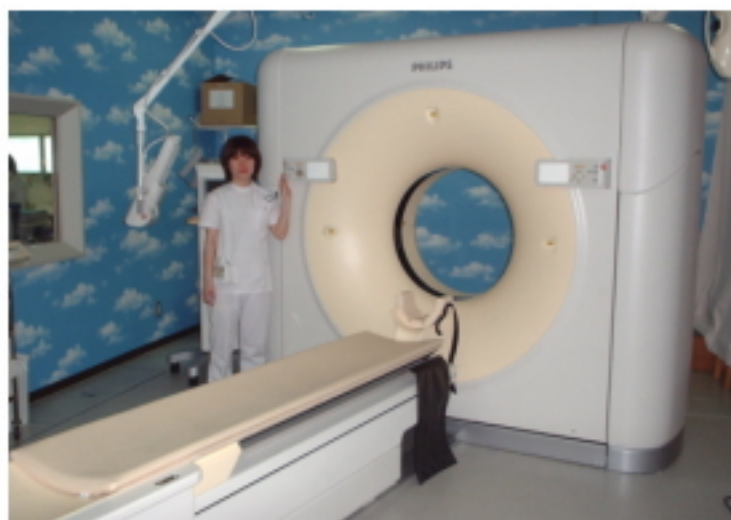
検査時間が大幅短縮、精度も向上



◀胸部縦断面



◀肋骨像



◀マルチスライスCT装置

大町病院は、最新型の「マルチスライスCT」(コンピュータ断層撮影装置)を導入し、3月27日から使用開始しました。検査の時間が大幅に短縮され、骨や血管などの立体画

像がすぐに作れるため、病変部の早期発見と精度の高い診断が可能になりました。写しにくかった心臓や血管、肺の気管支、大腸などの中の様子を画像で観察することもできます。

CTには、装置の内部に放射線を照射しながら回転する検出器があり、患者さんが横たわった寝台を装置の中で移動させ、断面をらせん状に撮影していきます。

これまでの装置は、検出器が1個だったため、1秒間に1〜2枚の画像しか得られず、撮影に時間がかかっていました。新しい装置は、検出器が40個並んでいるため、1回転すると、最大、体の4・0センチ幅の部分の膨大な断層写真が撮れます。

撮影で患者さんが息を止めている時間は、肺を撮影する場合、これまで三十秒近くかかっていたものが、七秒ほどで済み、放射線の被ばく量が少なく、患者さんの負担も軽くなりました。

また、付属の画像処理装置により、広い範囲の骨や血管の立体画像や、血管や腸の中を内視鏡でのごくような画像も得られるようになりました。合わせて、動きのある心臓

の撮影も可能になりました。機種の更新に際し、検査室の壁は、青空に雲が浮かぶ風景に変え、リラクセスして検査が受けられるように配慮しました。

導入した機種は、オランダ・フィリップス社製。

患者満足度調査 実施報告

サービス向上委員会

一月に実施した患者満足度調査では、五日間で外来三十八名、病棟九十五名から回答をいただきました。

一例として

「病院に来る人は、皆不安で来ます。職員の対応は常に優しさを忘れない」ことを最低のルールとしてください」という意見の改善対応策としては「病院における接遇は、医療サービスの一環であり、患者をはじめとする来院者に対する基本姿勢の現われでもあり、病院全体の評価が大きく左右されます。職員は、専門的な能力のみでなく、いかに「思いやり」の心と「節度」を持って患者に接するか、「資質」が

漢方外来を開設
(東洋医学)

毎週木曜日 午後2時から、
藤巻達男医師が担当します。

■問い合わせ
内科外来 内線2046

常に問われています。今後も職員の接遇教育を一層充実し、対応改善に努めてまいります」と答えています。

外来・病棟とも不満足が高かった項目については、その結果を素直に受け止め、再度対応について検討を重ね、患者さんの視点に立った接遇・対応に心がける必要があると判断いたしました。

また、本調査に併せて寄せられました三十六項目の意見・要望については、各部署で検討を進め、可能などころからサービス改善に取り組みでまいります。

今回の報告書は、正面玄関に掲示してありますので、併せてご覧ください。

外来診療表

眼科は予約制になっています。

一般外来

	月	火	水	木	金	土	
内科	1診	山田 博美	中村 勝	野村 洋	吉江 雅信	北原 修	漆畑(信大)
	2診	百瀬 邦夫	鈴木(信大)	百瀬 邦夫	鈴木(信大)	林田(信大)	
	3診	吉江 雅信 (消化器)	北原 修 (腎臓・糖尿病)	山田 博美 (循環器)	川口(信大) (循環器)	野村 洋 (呼吸器)	
	4診			中村 勝		中村勝 ^{※3}	
外科	高木 哲 秋田(信大)	小林忠二郎 三澤 良輔	高木 哲 三澤 良輔	中川(信大)	小林忠二郎 三澤 良輔	(信大)	
泌尿器科	井上 善博	柳沢 温	三村 裕二	井上 善博	柳沢 温	三村 裕二	
皮膚科	松本 祥代	松本 祥代	松本 祥代	(信大)	松本 祥代	松本 祥代	
整形外科	下川 寛一 伊藤 仁	鎌倉 貞夫	下川(第2・4水) 伊藤 仁	鎌倉 貞夫	下川 寛一	*2下川・伊藤 村上(信大)	
耳鼻咽喉科		*1(信大)午後診察				(信大)	
眼科	山本(信大)		千葉(信大)		吉田(信大)	山本(信大)	
小児科	大嶽 富夫	遠藤 優子	大嶽 富夫	遠藤 優子	(信大)	*2大嶽・遠藤	
産婦人科	深松 義人	酒井 美幸	長田(信大)	深松 義人	酒井 美幸	(信大)	
脳神経外科					小山(信大)		
形成外科		(信大)					

*1=耳鼻科の午後診察は午後2時から5時までです。(受け付けは午後3時30分まで) *2=整形外科・小児科の土曜日は交代制

専門外来

外科	心臓・血管外来	第2・4火曜日 午後2時～5時	担当：信大心臓血管外科医師
皮膚科	慢性疾患外来	水曜日 午後	担当：松本 祥代
内科	漢方外来(東洋医学)	木曜日 午後2時～	担当：藤巻 達男

小児科専門外来

腎臓・血液など慢性疾患外来	月曜日 午後	担当：大嶽	神経外来	水曜日 午後	担当：大嶽
循環器外来、乳児健診、発育外来	火曜日 午後	担当：遠藤	予防接種【予約制】	第2・4木曜日午後	担当：遠藤

相談・教室

母親学級	産婦人科病棟	第2・3・4木曜日	栄養相談	栄養室	随時
パパ・ママ学級	産婦人科病棟	第2・4土曜日	医療福祉相談	医療福祉室	毎日
母乳育児相談	産婦人科病棟	毎週水曜日午後【予約制】	ストーマ相談	外来外科	第2木・4火【予約制】
糖尿病教室	内科外来	第2・3水・金曜日			

ドック・健診

人間ドック(1泊2日)	健康管理室	火・水曜日および木・金曜日【予約制】	骨ドック	整形外科外来	月曜日【予約制】
日帰り健診	健康管理室	月・火・木・金曜日【予約制】			

受付時間

◇耳鼻咽喉科 午前8時～午後3時30分
 ◇その他の科 午前8時～11時30分
 (各科とも土曜日は10時30分まで)

診療

各科とも午前9時から
 ◇第1・第3・第5土曜日は休診です。
 ◇眼科は予約制となります。

◇耳鼻咽喉科は毎週火曜日の午後と、第2・4土曜日の午前が診療となります。
 ◇形成外科は火曜日の午前が診療となります。
 ◇脳神経外科は金曜日の午前が診療となります。
 ◇診察券(プラスチックのカード)は全科共通です。
 忘れずにお持ちください。
 ◇再来の予約診療もご利用ください。自動受付機は午前8時～受け付けています。
 ◇この外来診療表は、病院のホームページにも掲載しています。